

令和3年2月定例会 地方創生・行財政改革特別委員会の概要

令和3年3月10日（水）

令和3年2月定例会 地方創生・行財政改革特別委員会における発言

平松委員

新型コロナなど災害対応で時間外が増えてしまうのは理解するが、超過勤務が続くことが恒常化してしまっていることを懸念している。抜本的な対策をとるため、現状分析をしっかりとやってもらいたい。すぐに対処できるかは別だが、現状を明らかにする必要があるのではないか。

参事兼人事課長

時間外勤務をする原因について、現状分析をして必要な対策を講じることは大切と認識している。通常時であれば、人事課職員が、時間外が増えている理由を聞いているが、今回の新型コロナ対策については、それを遠慮せざるを得ないときもあった。委員の指摘を踏まえ、特に新型コロナ対策をしている課所などについて、よくヒアリングをして、仕事の流れなども聞き、どこに問題があるか改めて調べていきたい

平松委員 コロナ対策があるという事情も分かっており、その上で職員が県民のために働いていることに、私もいち県民として感謝している。ただ、コロナであるとか、台風対策であるとかにかかわらず超過勤務が発生している部分もあると思う。今、コロナ対策に全力を尽くすことは理解しているが、適切なタイミングで現状分析を行ってほしいので、よろしく願います。（要望）